

☆帝国主義国、後進国、「労働者国家」
三ブロック階級闘争を
世界プロ独—世界共産主義の勝利へ/
共産主義者同盟（戦旗派）

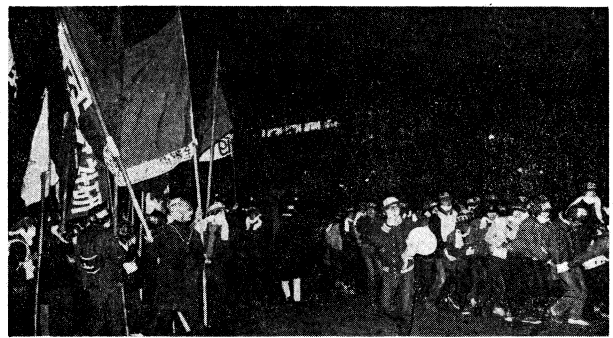
11月23日
5月3日 3の日発行
第315号
明徳社発行人 高島 勇
一部 50円
購読料20部1,200円（年刊）

戦旗

戦旗社
東京都千代田区三崎町2-7-6 戦旗ビル内電話代
03(364)2951 総務部 東京 100

11月26日 9・1 彌原 砕 里 集会
1時 千葉市労働者福祉センター
東大駒場
部落解放高校生総決起集会
11月29日 明大対 理事長・総長・学長 団交
12月8日 法制審議会紛争

11・19 防衛庁—高裁—東拘を包囲



中央集會に結集した300名の戦士は防衛庁—高裁—東拘を包囲して



説明会出席に決定した学生を当局は権力にうらむたした

12・9 関西政治集會に結集せよ

12・9 関西政治集會に結集せよ
（一）12・9（日）午後6時、大阪府立中央図書館（大阪府立中央図書館）で、関西政治集會を開催する。この集會は、関西の労働者、学生、市民の団結を促し、政治的行動を推進することを目的とする。参加者は、大阪府内各地から集まる予定である。集會の模様は、戦旗紙に掲載される。

19-20 権力導入—学生売渡し 断固反撃に決起

19-20 権力導入—学生売渡し 断固反撃に決起
（一）19-20日、東京の学生運動は、権力導入と学生売渡しの危険に直面している。この危険な状況に断固反撃を決起し、学生運動の自主性を堅持する。学生運動は、権力に屈服せず、自己の力で問題を解決するべきである。

東京

狭山・基地・学園闘争の大爆発にむけ

蜂起プロ独派二百が決起

（一）11月19日、東京で蜂起プロ独派二百名が、狭山・基地・学園闘争の大爆発にむけて決起した。この決起は、全国の労働者、学生、市民の団結を促し、政治的行動を推進することを目的とする。参加者は、東京府内各地から集まる予定である。決起の模様は、戦旗紙に掲載される。

九州

芦屋射爆場解体へ進撃

地域住民の見守る中

（一）11月19日、九州で芦屋射爆場の解体作業が進められている。この作業は、地域住民の見守る中に行われている。解体作業は、安全に完了することを希望する。地域住民は、解体作業の進捗状況を注視している。



中央集會は種族闘争からの闘争闘争と決意表明をうけていった

名古屋

部落解放闘争との結合めざし

白山基地解体に決起

（一）11月19日、名古屋で部落解放闘争との結合めざし、白山基地解体に決起した。この決起は、全国の労働者、学生、市民の団結を促し、政治的行動を推進することを目的とする。参加者は、名古屋府内各地から集まる予定である。決起の模様は、戦旗紙に掲載される。

19日蜂起プロ独派 全国統一行動打ちぬく

（一）19日、全国の労働者、学生、市民の団結を促し、政治的行動を推進することを目的とする。参加者は、全国各地から集まる予定である。行動の模様は、戦旗紙に掲載される。

明大 学費闘争

当局のロックアウトはねのけ

値上げ実力阻止へ！

（一）11月19日、明大で学費闘争が激化している。当局のロックアウトはねのけ、値上げ実力阻止へ！と決起した。この決起は、全国の労働者、学生、市民の団結を促し、政治的行動を推進することを目的とする。参加者は、東京都内各地から集まる予定である。決起の模様は、戦旗紙に掲載される。

カクマルによる川口大三郎君 リンチ殺人事件の本質

昭和二十一年十一月二十一日、川口大三郎君が、カクマルのリンチに殺害された。この事件は、戦後日本の政治的状況を象徴するものとして、世に知られるに至った。カクマルとは、戦後日本の政治界に勢力を伸ばした、右翼的組織の総称である。彼らは、戦後民主主義の発展を阻害し、戦前体制の復活を企図する者達である。川口君の死は、彼らの暴行の一端を露わにした。この事件の本質を、この文章で明らかにしよう。

川口君虐殺の何が問題と されなければならないか

川口君の死は、単なる個人の死として見過ごされるべきではない。これは、戦後日本の政治的状況を示す一つの重要な事件である。カクマルの暴行は、戦後民主主義の発展を阻害し、戦前体制の復活を企図する者達である。川口君の死は、彼らの暴行の一端を露わにした。この事件の本質を、この文章で明らかにしよう。

カクマルカクメイの創価学会 的本質を全階級戦線に暴露せよ

カクマルカクメイの創価学会は、戦後日本の政治界に勢力を伸ばした、右翼的組織の総称である。彼らは、戦後民主主義の発展を阻害し、戦前体制の復活を企図する者達である。川口君の死は、彼らの暴行の一端を露わにした。この事件の本質を、この文章で明らかにしよう。

川口君虐殺に表出した血 迷えるカクマルの本質

川口君の死は、戦後日本の政治的状況を象徴するものとして、世に知られるに至った。カクマルの暴行は、戦後民主主義の発展を阻害し、戦前体制の復活を企図する者達である。川口君の死は、彼らの暴行の一端を露わにした。この事件の本質を、この文章で明らかにしよう。

虐殺後の指導部の対応に みる官僚主義と自己保身

川口君の死後、指導部の対応は、官僚主義と自己保身の典型を示している。彼らは、事件の本質を追求せず、責任を回避しようとする。これは、戦後日本の政治的状況を象徴するものとして、世に知られるに至った。カクマルの暴行は、戦後民主主義の発展を阻害し、戦前体制の復活を企図する者達である。川口君の死は、彼らの暴行の一端を露わにした。この事件の本質を、この文章で明らかにしよう。

5.13戦士への 事後弾圧を許すな 20日 永田君不当逮捕を

5.13戦士への事後弾圧を許すな。20日 永田君不当逮捕を。これは、戦後日本の政治的状況を象徴するものとして、世に知られるに至った。カクマルの暴行は、戦後民主主義の発展を阻害し、戦前体制の復活を企図する者達である。川口君の死は、彼らの暴行の一端を露わにした。この事件の本質を、この文章で明らかにしよう。

理論戦線

共産主義青年同盟全国委員会機関誌

世界一國同時革命・プロレタリア独裁・暴力革命

12号 11月下旬発売！
定価 400円 110円

戦旗社
編集 東京 二六二〇
中込先 東京都千代田区三軒見二七六

年末一時金三割カンパを 共産主義者同盟(戦旗派)

年末一時金三割カンパを共産主義者同盟(戦旗派)。これは、戦後日本の政治的状況を象徴するものとして、世に知られるに至った。カクマルの暴行は、戦後民主主義の発展を阻害し、戦前体制の復活を企図する者達である。川口君の死は、彼らの暴行の一端を露わにした。この事件の本質を、この文章で明らかにしよう。

